令和 4年度 事務事業名

策

体

系

予算科目

総合計画の施策名

政策名

施策名

手段名

会計款

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

一般会計

広報広聴事業

[価]	記入年月日										
		令	和	4	年		4	月	1	\Box	
区分			担当								
	継続		事務事業No.			060101000874					
単独			所属課			010101					
						秘書広報課					
				課長を	3						
			グループ			秘書広報G					
			担	当者	名						
間											

(平成22 年度~)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

法令根拠 コミュニティビジョン広告協定 (Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

項

01 02 01 04 01 00

(1)事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

民間広告会社の長田広告と協力し、企業広告つきのテレビモニターを各庁舎に設置し、行政情報の放映を含め、企業等の広告放映を行い、周知する事業です。

桜川市コミュニティビジョン設置事業

市民協働のまちづくり

06 みんなで築く自治のまちづくり

政策体系上の位置付け

01 市民協働のまちづくり

O1 ①広報広聴の充実 財務会計上の位置付け

目 事業 細

0601

企業の広告放映については、長田広告において、募集案内及び各企業との契約等を行います。主に市からお知らせを行う行政情報は、秘書広報課において、関係各課に放映の募集案内などを行います。

この事業により、定期的に安定した収入が得られることで、桜川市の自主財源が確保できることになります。

令和2年度に引き続き令和3年度も協定を1年間更新しました。今後も、協定に基づき、更新していく予定です。

|②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

新規/継続

単独/補助

業 期

単年度繰返し

- ・コミュニティビジョン開始初年度や更新年度は、協定書の作成および 更新手続き、民間企業の広告の審査事務をします。 ・行政情報も放映できる枠が設けてあるため、関係各課に放映の募集案
- ・行政情報も放映できる枠が設けてあるため、関係各課に放映の募集案内などを行い、放映する行政情報を取りまとめて、長田広告に申し込みます。
- 長田広告への年間放映料の請求事務を年度末に行います。

	に至りる、更利していて予定です。													
(2)	事務署	事業の手段・対象	・意図と各指	1標、指標値の推移	2			1	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
(1)手戶	殳 (扌	担当者の活動内容)		④活動指標	(活動量を表	長す指標)	È	単位	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
					打ち合わせ回	打ち合わせ回数				3.00	3.00	3.00	3.00	0.00
毎月の行政情報掲載					募集(行政情報	募集(行政情報枠)				12,00	12,00	12.00	12.00	12.00
				情報の発信回	情報の発信回数(企業数×12か月)				84.00	84.00	84.00	84.00	0.00	
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	②対象 (誰、何を対象にしているのか)			⑤対象指標	(対象の大き	きさを表す指標	i) È	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	O5年度 (目標)	06年度 (目標)	
					人口	\nabla_			人	(5 4454)	(2 4.12.12	37,852.00		0.00
	市民(市役所に来庁した市民) 広告主			広告主となった	広告主となった企業数				4.00	4.00	5.00	5.00	0.00	
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3	③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)				⑥成果指標	⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)			単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	O5年度 (目標)	06年度 (目標)
					市に入る広告を	市に入る広告料			円	420,760.00	420,672.00	420,703.00	420,703.00	0.00
	行政や企業からの情報が入手できる 一般財源を増やす(広告料が入手できる)			行政の情報が- じている市民	行政の情報が十分に提供されていると感じている市民				55.40	56.50	58.00	58.00	0.00	
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
((3) 投入量(事業費)の推移 ―			02年度 (実績)		3年度実績)	04年度 (計画)				06年度 (目標)		間限定 没入量	
			国庫支出金	千円)	0			0				
±n.	由	財	県支出金 地方債	千円		0	0			0				
按	设事 第 内		地方債 千円 使用料・手数料 千円 ・手数料 千円 ・)	0			0				
	費	訳	その他	千円	42	-	421			421				
入		۵, ۲	一般財源	千円	-42		-421		-	-421				
			事業費計(A)	千円		O	0			0				
		正	規職員従事人数	人	2.00人	2.0)0人	2.0	20人					
			0/	2.左座書巻書								3		
				D+皮争耒貸	実績(千円)	領(丁ヴ)			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		J4平及争業負	(予算(千円) 		
事														
業費														
の内訳														
5, (<u> </u>								=1	
					合 計		0					合	計	0

		(桜川巾付以評価ンステム)									
	事務事業名 桜川市コミュニティビジョン設置事業 事務事業% 60101000874	所属課秘書広報課									
((4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう3										
	平成22年2月~モニター放映開始(笠間市、那珂市で導入されたことから検討)。平成26年4月から消費税増税(5%										
	ました。平成27年度から令和2年までは再度5年間の協定を締結しました。令和3年度は協定を1年間延長し、令和4年 長。	及も51さ続き協定を1年间延									
	R ₀										
	(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?										
	での事物事業に対して関係者(住民、職会、事業対象者、利告関係者)がうこれは思えて要量が可じられているが、市からのお知らせなど映像を使用し、周知できています。また事業に対する市からの支出は無く、放送料は歳入として										
	である。 また事業に対する中からの文面は無く、 版と科は版入として、 ため良いとの意見がありました。	の日土別派の唯体に相びラく									
	See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。										
	評価項目										
	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)										
TE	■ 「 付きていていて」 エーカー 本田に上の「中に」 七主中の中に矢頂煙却も発信できてもの中却機能を用たして	117									
現状	結びついている	ハる。									
維維											
持	y ムハ肉 コッメコは (などこの手未ででは ロケッない) (はない)ないのか: 他立では入して、 足肉 y の日のが () (広た文記手未はての右側)										
	安当である 市民の方が集まる市役所で、情報を発信ができる。市からの費用はゼロで、放送料の収入:	もある。									
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が非になった。	明待できないのか?)									
	ウトクサがない。										
	<u>「向上余地がない</u> 一定期間、決められた放送料が実施業者から納入される。										
	 ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)										
有											
效											
性											
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))										
	(他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名										
	余地がない類似事業がありません。										
	がはなるが										
	⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できな	いか?)									
郊											
率性	割減余地がない事業費はないです。業者との打ち合わせと、行政情報募集するだけの人件費のみであるため	め削減できない。									
		5. 7.1.7.10.0									
公	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正にな	まつ (いるか?)									
平性	「 <u>公正・公平である</u> 市からの経費は無しで、収入が発生する本事業は、市民への情報提供も無料で行える適正	な事業である。									
性	THE SOUTH CONTROL OF THE SOUTH	0.5 × 0.0 0.0									
7	Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)										
((1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点)										
	企業の協力もあり、市の自主財源の確保が図れました。	。また、協定を更新すること決定									
	①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり □ し、今年度の自主財源を確保することができました。										
	②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり										
	④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり										
(3	3) 今後の事業の方向性	(4)改革・改善による期待成果									
1	(複数回答可)	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)									
	□ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う □ 目的の再設定 □ 効率性の改善										
	□ 有効性の改善□ 公平性の改善□ 公平性の改善□ 公平性の改善□ は状維持 □ 統廃合ができる □ 連携ができる	コスト 削減 維持 増加									
	□ 廃止 □ 休止 ■ 現状維持 □ 統廃合ができる □ 連携ができる	自 自									
((5) 改革,改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	ㅓ [正]									
		成維									
		果 哲									
		低									
		下									
		(6)事務事業優先度評価結果									
		_									
		成果優先度評価結果									
	【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項										
	(1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C	、D判定及び確認が必要な場合)									
	課長確認後の評価 アンファン・アンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンアンア										
	・										
	A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出										